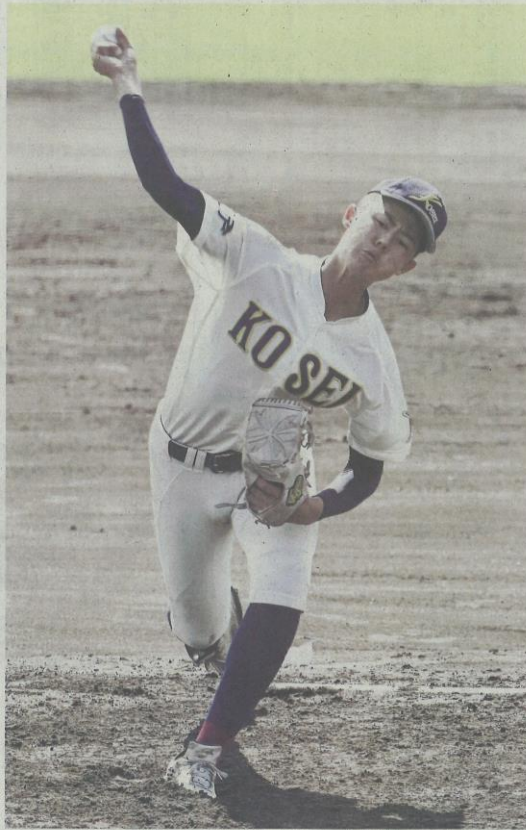


光星逃げ切り 決勝進出



【準決勝・弘前工一八学光星】先発した八学光星の北口晃大
＝八戸長根

先発北口、粘投も反省

ハイライト

八学光星は1年生右腕。北口晃大が粘り強い投球を見せ、8回6安打6三振1失点と、決勝進出の原動力となった。だが、序盤から直球が大きく外れることが多く、8回には連打と四球

「最後まで修正できなかった」

を出してあわや逆転のピンチを招いた。北口は「最後まで修正できなかった」と反省しきりだった。1.85mの身長を生かした高低差のある直球とフォームが取れる変化球が魅力の北口は、仲井宗基監督から将来のエース格と期待され、この日は「真つすぐが指

はマウンドを引き継いだ濱元麻佑が三青退できつちり締めくくった。八回のピンチには周囲から「同点でもOK」と声を掛けられて、気が楽になったと北口。後半は上半身だけの投球になってしまっただけの振り返り、「今日は準備で助けてもらった。次は同じことを絶対しないように、下半身を鍛え直す」と気持ちを切り替えていた。(桑田友入)

青森県 秋季高校野球

秋季東北地区高校野球青森県大会第6日は23日、八戸長根球場で準決勝2試合を行った。八学光星は弘前工に3-1で逃げ切り、青森山田は弘学聖愛に4-2で逆転勝ちした。八学光星と青森山田は、来春の選抜大会につながる東北大会(10月12~19日・福島県)の切符を手にした。

八学光星は三回1死満塁から佐々木龍馬の犠飛、石原大暉の適時打で2点先制。先発北口晃大は8回1失点と粘投した。

青森山田は三回に2失点。打線はなかなか好機を生かせなかったが、八回に伊藤英司、永廣登偉の連打で逆転した。救援した青番号1の下山大昂は反撃を許さなかった。

最終日の24日は同球場で、東北大会の残り1枠を懸けた弘前工一弘学聖愛の3位決定戦の後、八学光星一青森山田の決勝戦を行う。(取材班)

弘前工	0	0	0	0	0	1
八学光星	0	0	2	0	1	0
三塁打	0	0	0	0	0	0
四球	0	0	0	0	0	0
失点	1	2	0	0	0	0
打点	1	2	0	0	0	0
得点	1	2	0	0	0	0

準決勝

弘前工 000 000 010 | 1
八学光星 002 001 00X | 3

(弘) 工藤渉一木元
(八) 北口、濱元一米澤
▷三塁打 中澤(弘) ▷二塁打 中澤(弘)
▷試合時間 1時間58分
(球審＝梅田、塁審＝小松、中村、石田)

【評】八学光星は三回1死満塁、佐々木の中犠飛に、石原も右前打で続いて2点先制。六回も北口の中前適時打で加点した。先発北口は苦しんだが8回1失点で耐え抜き、救援の濱元が九回を三者凡退で締めた。弘前工は好機で量み掛けられず、工藤渉の力投に応えられなかった。